

令和3年度 第8回 政策決定会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和3年11月29日（月） 10：00～10：25
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、戎井副市長、大下教育長
-

◆審議事項

- ・①消防施設等計画の策定
 - ②ゆめみヶ丘消防施設等の建設について・・・・・・・・・・・・・・・・消防本部総務課⇒承認
-

◆審議概要

『①消防施設等計画の策定

②ゆめみヶ丘消防施設等の建設について』

〈説明者〉源消防長、雪本消防次長、武田総務課長、岬担当司令、坂本係長
松下まちづくり推進部長、岸建設部長

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案どおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉消防の課題として、「迅速性」と「消防職員の人材確保・育成」がある。滋賀県大津市では平均現場到着時間が7分であると全国的にPRし評価されている。都道府県や市町村によって差がないようにする必要がある。可能な限り到着時間を短縮するため、道路等のインフラを整備しまちづくり全体を考えるとともに、「岸和田市公共施設等総合管理計画」に基づき早急に施設整備を進められたい。まちづくり推進部、建設部と十分連携するように。老朽化施設の計画的な解消を図り、働きたくなる、また働きやすいかつ機動性の高い施設・設備の充実を早急に図っていくこと。

〈戎井副市長〉訓練施設など必要な機能を備えられるよう、緊急防災減災事業債をうまく活用されたい。民間事業者の活用も含め、機能面と費用対効果を検討されたい。

〈市長〉今回の取組についてうまくPRし、議員や市民を巻き込んで進めてもらいたい。新しい施設ができることに安心するのではなく、さらにソフト面の強化に努めること。

〈堤副市長〉既に消防でもYou Tubeで動画を配信しているが、引き続き多くの人に見てもらえるような質の良い動画を作成しPRしてもらいたい。また、職員採用につながることを意識した動画も作成してもらいたい。

〈市長〉PR動画を作成している市などとコラボレーションするのはどうか。女性も働きやすいことをアピールできればよい。人材の確保や隊員の士気にもつながるので検討されたい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案のとおり承認する。

令和3年 11 月9日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 消防本部 消防長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	① 消防施設計画の策定 ② ゆめみヶ丘消防施設等の建設について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	市域形状の変化、時代の変化に伴い、多種多様化する災害及び増加の一途を辿る救急事案に対応するため、消防施設適正配置を推進し、市民サービス向上を目的とした施設建設を進めることについて、ご審議いただくため、付議を行う。
説明者	消防本部 雪本次長、武田総務課長、岬担当司令、坂本係長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和 3年度 第8回会議
付議事項	消防施設等建築計画に基づくゆめみヶ丘消防施設等建設について

★取組の目的

対象	①消防施設等計画の策定 ②ゆめみヶ丘消防施設等建設
どのような状態を目指す	①消防施設等計画を署所の市域形状に変化に伴う適正配置を策定する。 ②多種多様化する災害及び増加の一途を辿る救急事案に対応するため、ゆめみヶ丘地内の開発に伴う市域形状の変化を勘案し、消防力が有効に発揮できる消防施設適正配置を推進し、ゆめみヶ丘地内に消防施設等を建築する。

★総合計画上の位置付け

104020101	基本目標	I-4 人も街も災害に強くする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)災害が起こったとき、迅速・的確な対応ができています
	目指す成果	①災害被害を最小限に抑える危機管理体制が整っている
	行政の役割	ア 災害対応に必要な施設、物資を適切に配置する

★現状と課題

①市域形状の変化に伴い署所の適正配置を再検討する必要がある。
②現状、東葛城出張所が山手地区の防災拠点として役割を担っているが、市街地への出場に時間を要するため、出場範囲が限られた状態となっている。また、東葛城出張所は庁舎規模(敷地面積含む)が狭く、高齢化が進む山手地区からの救急要請には直近の救急隊常駐消防庁舎(本署及び山直分署)からの出場となるため、現場到着までに時間を要している課題がある。加えて、消防団員拠点施設及び訓練施設、緊急消防援助隊の救助活動等拠点施設並びに防災備蓄倉庫を設置することで地方債(緊急防災・減災事業債)の対象となることを踏まえ、消防本部とは別の防災拠点を設置し、災害時の被災リスクを分散できる体制を構築する。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
ゆめみヶ丘消防施設等基本・実施設計					23,000			
ゆめみヶ丘消防施設等造成工事及び本体工事					58,080	325,983		
ゆめみヶ丘消防施設等防災備蓄倉庫及び訓練施設並びにその他施設(防火水槽、自家給施設)						協議中		
財源内訳	国費							
	府費							
	起債					※81000	※325900	
	一般財源					80	83	
	その他							
事業費			計	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			407,063	0	81,080	325,983	0	0

※70%は地方交付税措置されます

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
有	2	4	4		
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R1年度	R2年度	R3年度	目標値				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
① 山手地区救急到着平均時間	分	大沢町 約16 塔原町 約20						大沢町 約9 塔原町 約12	
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。